

# 曲り角にきた日本の社会保障

2013年2月21日

貝塚 啓明

## 1) 社会保障の元来の目標

ベバリッジ報告の意図

「すべての人々とその家族にその権利として生存可能な所得を保障すること」  
保守的考え方のベバリッジとしては限界となるような発言（英国国会議事録）

チャーチルの政治的意図

労働者階級をも対ナチスの戦争に動員するためのアメ

## 2) 社会保険が制度の中心

失業、労災、疾病、引退後の所得低下などのリスクを社会的にプール  
生活保護に落ち込まないようにする  
救貧法の時代に戻らないようにする

## 3) 公的扶助（生活保護）をなるべく避ける

日本の厚生行政では余り重視されてこなかった  
日本の現状は生活保護が急増

## 4) 最大の問題は、社会保険が機能しないこと

年金記録の喪失  
皆保険・皆年金は実現しえない現実

## 5) 政策の中心は、社会保険の Compliance を高めること

納税者番号制度の確立  
今後の社会保障改革は、Compliance の改善なしには前進しない  
困難な課題であり、どうするつもりか？

参考資料（1）

## 社会保障制度の国際比較

平成 24 年 5 月 17 日

貝塚 啓明

### 1) 歴史的沿革

社会保障制度はプロシアから始まる

ビスマルク（鉄血宰相, 1815 - 98）

なぜ遅れた国で始まったのか？

イギリスの場合（福祉国家）

救貧法（Poor Law）から社会保険へ

創始者（Beveridge）は保守主義社

チャーチルの政治的意図

労働者階級を引き寄せる

単一税率と固定給付

給付水準を補足給付で補う

アメリカの場合

社会保障に対しては懐疑的

医療保険がようやく成立

ヨーロッパの場合

北欧型福祉社会

### 2) 福祉国家の成立要件

Compliance が不可欠

納税者番号制度の定着

北欧とアメリカ

ラテン系諸国は不十分

### 3) 保険方式か税方式か

生活保護制度の存在

基礎年金の水準と生活保護

年金の一元化？

税との一体改革

社会保険（特に国民年金・国民健康保険）の保険料徴収の執行体制)

### 4) 社会保障制度の曲がり角

加入期間

短い期間で運営できるか？

生活保護の役割

家族形態と社会保障

世帯単位か個人単位か

効率化は可能か

弱者をとりこめるか

日本の社会保障は低い負担水準

低い保険料と国庫負担

非正規労働の存在により保険制度の *Coverage* は狭くなる

### 5) 震災と社会保障

行政機構が崩壊

どう再建するか？

産業政策の必要性

原子力発電の危うさ

## 参考資料（２）

### 社会保障と貧困問題

2010年1月27日

貝塚 啓明

#### 問題意識

なぜ日本では貧困の問題に関心が寄せられなかったのか。

所得分布と再分配政策の効果

所得分配の変化

やや不平等化

生活保護が制度的に分離されている

社会保障との関連を重視せず

2000年代後半になって関心が寄せられる

#### イギリスでの状況（Atkinson の指摘）

失業保険が機能しない

貧困の防止と結びつかない

生活保護への依存が拡大

人口の16%

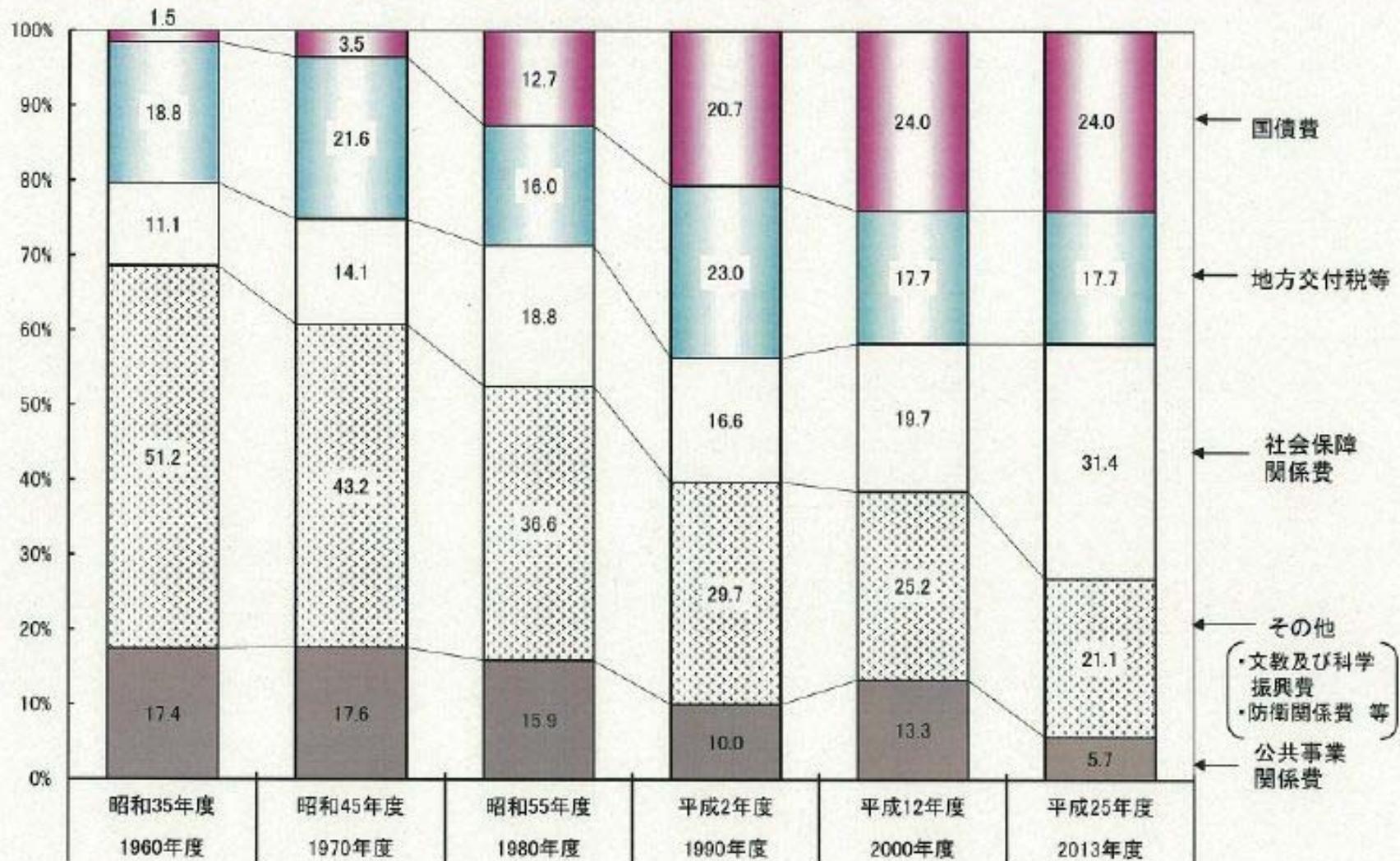
低賃金の増加

申請しない人々の存在

日本もほぼ同じ問題が存在する

図表1

一般会計歳出に占める主要経費の割合の推移

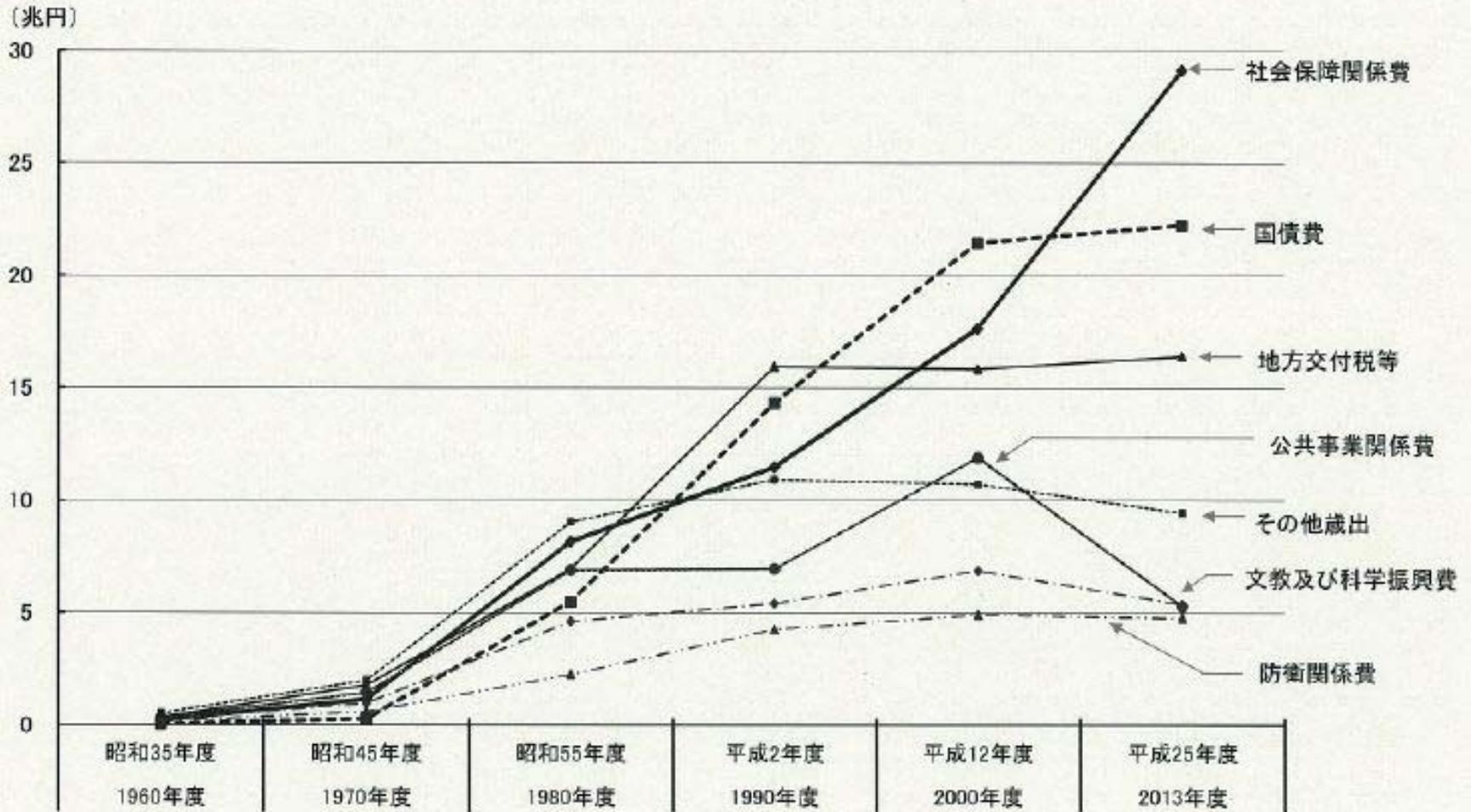


(注)平成12年度までは決算、25年度は政府案による。

図表2

8

一般会計の主要経費別歳出額の推移



(注)平成12年度までは決算、25年度は政府案による。